

みんなでつくる“わ”のまち 能代

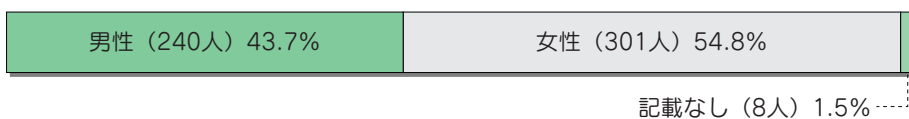


この調査は、生活環境や行政サービスなどについて皆さんが日ごろ感じていることや考えを把握し、今後の各種行政施策に反映するために平成4年度から行っています。今年度の調査結果を2回に分けてお知らせします。

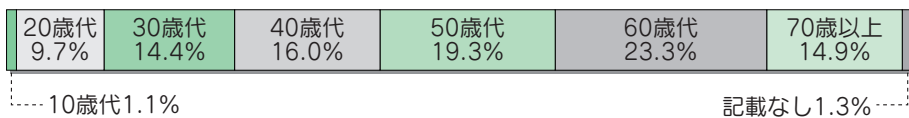
回答の状況

◆対象者 1,200人 ◆回答者 549人
◆回収率 45.8%

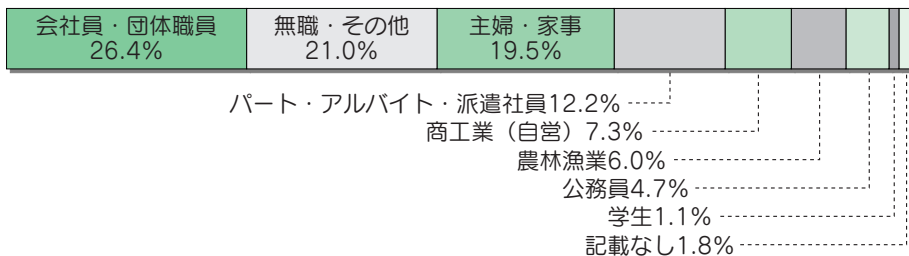
性別



年齢



職業



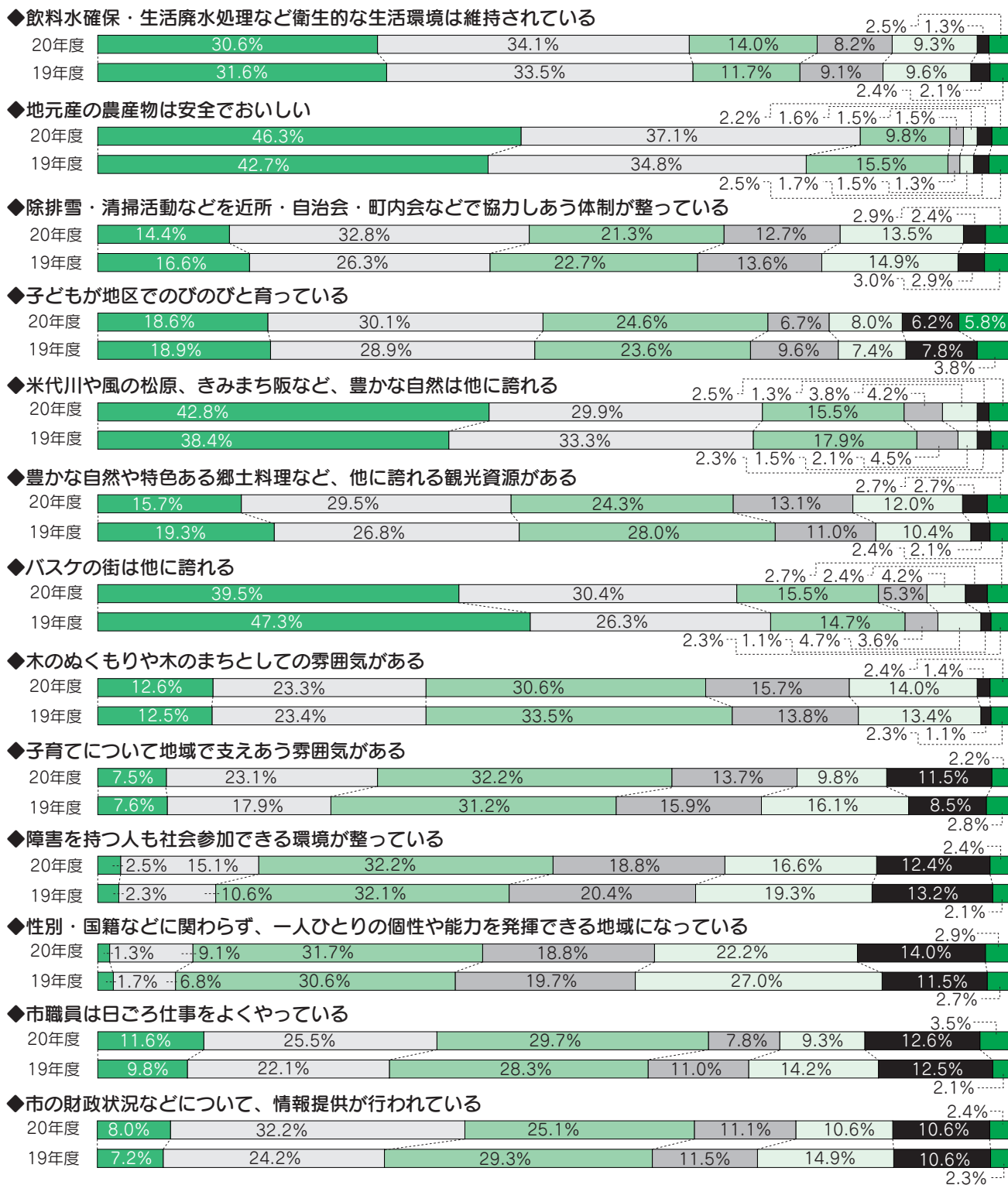
【調査方法】
◆調査対象 18歳以上の1,200人
住民基本台帳から年代別の無作為抽出
◆回答方法 無記名で郵送による
◆回収期間 6月27日～7月14日

市民意識調査の問合せは
広報広聴係 ☎89-2147

【調査項目】
▽日ごろ感じていること
▽施設使用料について
▽生活バス路線について
◆次の項目は次回掲載します
▽日ごろ心掛けていること
▽あなた自身のこと
▽市政について
▽生ごみの減量・資源化について

日ごろどのように感じているか

【凡例】 ■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらともいえない
 ■ どちらかといえば思わない ■ 思わない ■ わからない ■ 記載なし



この「日ごろ感じていること」は、昨年からの調査項目で、今後継続して調査していきます。

身近な暮らしでは、全国的に「環境」「食」への関心が高まる中、地元産農産物への信頼性は高まっていますが、環境に対しては、漠然とした不安を抱えていることが感じ取れる結果となりました。

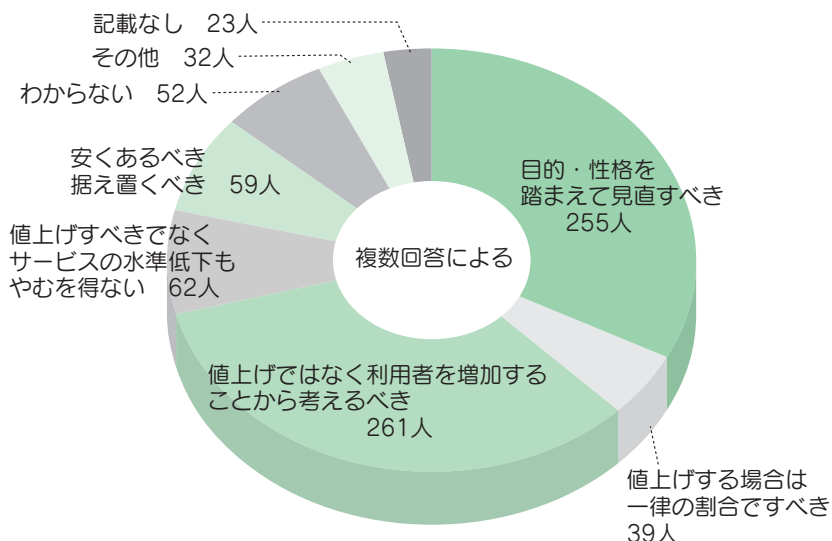
地域社会では、除排雪・清掃活動や子育てなど、地区内でお互いに協力しあう傾向が強くなってきており、高齢化が進行する中で、人のつながりの重要性が徐々に浸

透してきている傾向が見えました。

市の特色では、豊かな自然を他に誇れる気持ちは強くなっているものの、それが直接観光などに結びついてるとはいえず、市のイメージとしても、バスケの街や木のまちといった印象が若干後退気味となっています。今後に向けて、考慮が望まれます。

市職員および市からの情報提供に対する評価は、増加傾向にありますが、なお一層の開かれた市政をめざして、職員一人ひとりの心がけと努力が望まれます。

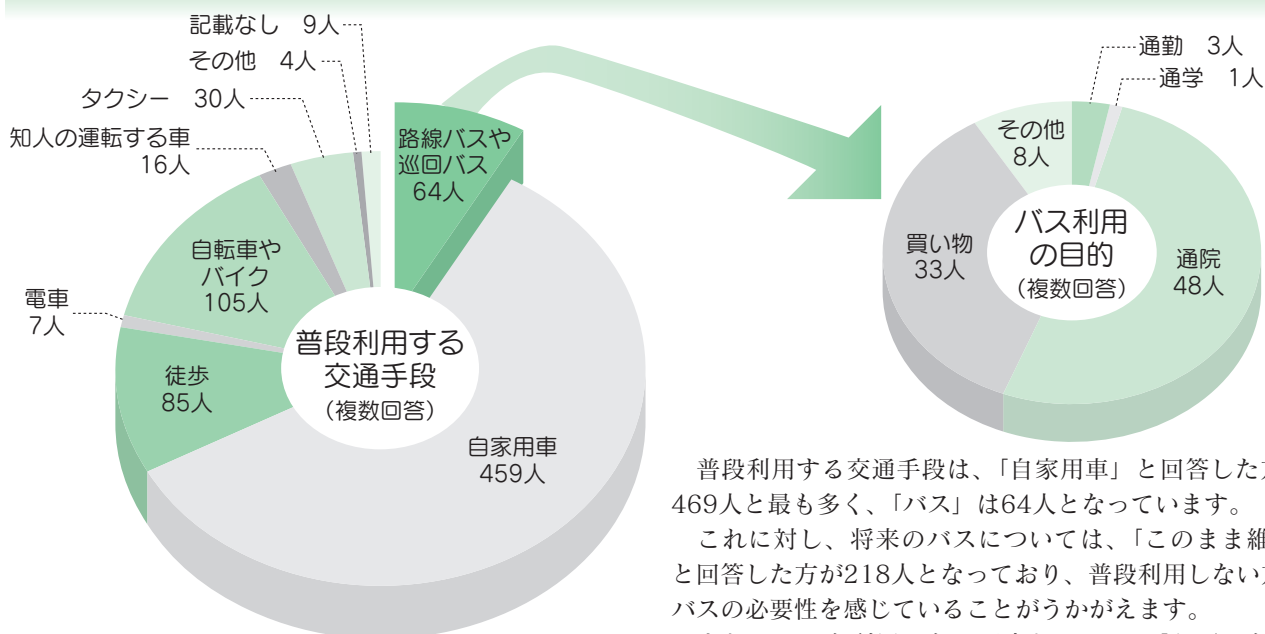
市の施設の使用料について



市の施設の運営経費は使用料をあてるだけでは足りないので市税などから補っており、利用者以外の市民も間接的に運営経費を負担しています。

「利用者を増加することから考えるべき」「安くあるべき、据え置くべき」「サービス低下もやむを得ないが据え置くべき」という、値上げに否定的な回答が全体の49%あった一方、「施設の目的・性格を踏まえ使用料を見直すべき」という意見も33%ありました。今後、利用者の負担とそれ以外の市民の負担の関係をどう考えるべきかの検討に活用していきます。

路線バスの利用について

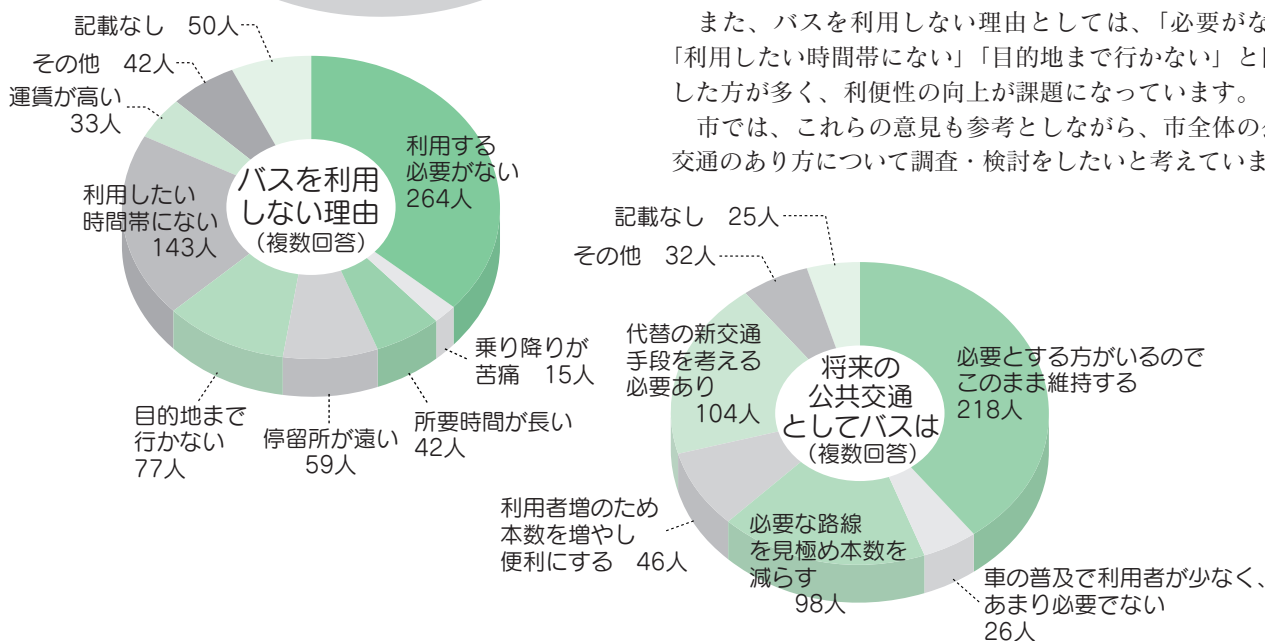


普段利用する交通手段は、「自家用車」と回答した方が469人と最も多く、「バス」は64人となっています。

これに対し、将来のバスについては、「このまま維持」と回答した方が218人となっており、普段利用しない方もバスの必要性を感じていることがうかがえます。

また、バスを利用しない理由としては、「必要がない」「利用したい時間帯にない」「目的地まで行かない」と回答した方が多く、利便性の向上が課題となっています。

市では、これらの意見も参考としながら、市全体の公共交通のあり方について調査・検討をしたいと考えています。



みんなでつくる"わ"のまち能代

前号に続き、市民意識調査の結果を公表します。

今回は「市政について」「日ごろ心掛けていることについて」「あなた自身のことについて」「生ごみの減量・資源化について」です。調査結果はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.noshiro.akita.jp>

問合せ 広報広聴係 ☎89-2147

【調査方法】

- 対象 18歳以上1,200人
- 抽出 住民基本台帳より年代別無作為抽出
- 回答者 549人
- 回収率 45.8%

市政について

特に知りたいと思っていること(複数回答)

内 容	20年度	19年度
取り組む仕事の内容や進みぐあい	①212人	①204人
計画している仕事やその内容	②194人	②199人
抱えている大きな問題や困っていること	③192人	⑤160人
予算の使い方	④165人	③181人
新しくできた制度やその事務手続	⑤157人	⑥147人
市長の考え方	⑥153人	④162人
市議会で審議されている内容	⑦119人	⑦118人
施設やその利用方法	⑧118人	⑧104人
行事や催し物	⑨ 60人	⑨ 85人
歴史や文化・芸能など	⑩ 31人	⑩ 31人
いろいろな統計資料	⑪ 12人	⑪ 6人
わからない	28人	23人
その他	14人	14人
記載なし	17人	13人

「知りたいと思っていること」の順位として、2位までは昨年と変わらず「取り組んでいる仕事の内容や進みぐあい」「計画している仕事やその内容」となっているが、今年は3位に「抱えている大きな問題や困っていること」となった。

「意見や要望の伝え方」では、昨年まで1位の「自治会長や行政相談委員を通じて」が3位に後退し、2・3位だった「伝えない」「自分で話す」が1・2位となった。

「求める市職員像」では、今年は選択肢を整理したので単純比較はできないが、「わかりやすく説明できる」「市民の立場で考える」「親切丁寧に対応できる」が昨年も含め、上位3位となっている。

意見や要望の伝え方

内 容	20年度	19年度
伝えない	①22.2%	②20.0%
自分で訪れて話すか電話で	②18.4%	③17.4%
自治会長や行政相談委員を通じて	③18.2%	①21.6%
市長への手紙やEメール、FAXで	④ 5.3%	④ 7.4%
市議会議員を通じて	⑤ 5.1%	⑤ 5.3%
知り合いの市の職員を通じて	⑥ 4.0%	⑥ 4.5%
新聞等への投稿	⑦ 2.6%	⑦ 2.8%
陳情や請願をする	⑧ 1.6%	⑧ 1.0%
わからない	16.8%	14.9%
その他	2.5%	2.3%
記載なし	3.3%	2.8%

どのような市職員を求めているか(複数回答)

内 容	20年度	19年度
わかりやすく説明のできる	①221人	②270人
市民の立場に立って物事を考える	②205人	①286人
笑顔で親切丁寧な対応のできる	③201人	③247人
誰にでも公平に接する	④135人	④200人
サービス業という意識を持つ	⑤120人	⑤147人
迅速で効率的な仕事のできる	⑥120人	⑦123人
柔軟な対応のできる	⑦116人	⑥146人
現状を正しく理解し、正確に判断できる	⑧115人	⑨111人
社会の変化を敏感に察知し、対応できる	⑨101人	⑩ 94人
自分の発言や行動に責任を持つ	⑩ 77人	⑧112人
専門知識・技能を持ち、市民に還元する	⑪ 75人	⑪ 85人
仕事を立案・実施・点検・改善できる	⑫ 43人	⑫ 71人
わからない	5人	3人
その他	14人	9人
記載なし	9人	12人